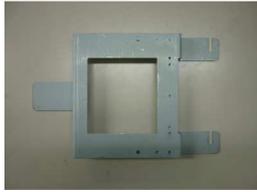


80系 VOXY & ノア ノーマルルーフ ALPINE リアビジョン専用 取付説明書

構成部品



ブラケットA



ブラケットB



M6X10ボルト



ワッシャー Spacer



クッションテープ



M4X8皿ネジ



Spacer



M4X20ボルト

取付説明 下記写真で確認しながら作業を進めてください。

(写真①) 後席エアコンコントロールパネルから、車両前方100mmの所に車両センターから横260mm×縦170mmの位置の天井ライニングをカッターでカットします。

(写真②) 100mm の測定は天井ライニングに沿って突き出すようにして、下からのアングルでパネルにそろえて測ってください。

PCXシリーズの取付は追加補足の説明書に従い必ず開口部を広げてください。

(広げなければプラズマクラスターファンの吸気口がふさがれ、モニターが破損します。)

(写真③) 車両後方側をのぞくとフレームにボルト穴が2箇所見えます。

(写真④) そのボルト穴にM6X10ボルト&スプリングワッシャーを3mmほど締めこみ仮止めします。

(写真⑤) 天井ライニングがファスナー(マジックテープ)3カ所で固定されています。外すと隙間が広がり作業しやすくなります。

(写真⑥) ブラケットAを天井内に入れ、車両後方側に少し寄せておきます。

(写真⑦) 車両前方側をのぞくとフレームが見えます。そのフレームの隙間にブラケットを差し込みます。

(写真⑧) 車両後方側はブラケットを横からスライドしてはめ込み、ボルトを締め付け固定します。

(写真⑨) 天井ライニングのファスナーをはめ込み元に戻します。(写真⑤の逆の作業です)

(写真⑩) ブラケットAが固定された状態です。ゆすってみてカタカタ音がある場合は、ブラケットと天井の隙間にスポンジや緩衝材を挟み込んで下さい。スポンジなど無い場合は、

(写真⑪) カットした天井ライニングを重ね合わせて使用します。あまりきつく挟み込むとルーフに歪が発生します。ご注意ください。

(写真⑫) 写真を参照にワッシャーSpacerを4箇所、クッションテープを2箇所貼り付けます。

(写真⑬) ブラケットBをM4X8皿ビスで取付します。

(写真⑭) モニター本体裏のビス穴にあわせてSpacerをテープなどで貼り付けます。

(写真⑮) 中央のボルト穴は使用せず、キット付属のM4X20ボルト4本でモニター本体を取付します。

取付概要写真



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫



写真⑬



写真⑭



写真⑮

ルームランプ付きリアビジョンのみ

リアビジョンルームランプ線はフロントルームランプのコネクター配線に接続します。

リアビジョンルームランプ線 赤 → 車両側コネクター 緑

リアビジョンルームランプ線 緑 → 車両側コネクター 白

リアビジョンルームランプ線 黒 → 車両側コネクター 白／黒

年式・グレードによって車両ハーネス線の入り方が異なる場合がありますので必ずテスターで確認して下さい。

簡易作業用の赤タップを同梱させて頂いてますが、接触不良など発生する場合がございます。

「お互いの配線を露出させ巻きつける」「ハンダ接続する」などの作業をおすすめします。

この場合は配線ショートしないように必ずビニールテープなどで絶縁してください。